



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 クニミネ工業株式会社
コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略部長 (氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,462	1.0	475	11.5	550	5.6	357	13.9
27年3月期第2四半期	5,408	3.0	426	△2.2	521	0.1	314	1.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 236百万円 (△38.1%) 27年3月期第2四半期 382百万円 (△18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	26.72	—
27年3月期第2四半期	25.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,779	14,049	82.4
27年3月期	17,537	14,214	79.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,823百万円 27年3月期 14,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 上場市場変更記念配当 15円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,812	6.4	1,543	12.1	1,685	3.7	1,057	5.6	78.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	14,450,000 株	27年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,061,577 株	27年3月期	1,061,495 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	13,388,482 株	27年3月期2Q	12,239,624 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 2
4. 四半期連結財務諸表	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、株高原油安による消費者マインドの改善があり個人消費は持ち直しの動きが続いていましたが名目賃金の伸び悩みなどから弱めの動きとなっており、中国の景気減速懸念を発端とした世界同時株安の影響もあり、景気は足踏み状態となりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数の減少が続いていますが、土木建築業界は、新設住宅着工戸数に持ち直しが見られ、アグリ事業は、消費税率引き上げによる反動減からの回復があったこと等により、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、電力料金の値上げや原材料価格の上昇に対して原価の上昇を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門において円安による原材料費の上昇や輸送コストの上昇が避けられなかったものの、採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門の好調により、売上高は54億62百万円（前年同期比 1.0%増）、営業利益は4億75百万円（同 11.5%増）となりました。経常利益は前年同期にあった為替差益37百万円が為替差損1百万円に転じたこと等により5億50百万円（同 5.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億57百万円（同 13.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、輸入原鉱を使用する製品の価格改定を実施したこと等に加え、タイ国での売上が寄与し、増収となりました。土木建築関係は、新設住宅着工戸数の持ち直しとともにマンション工事等一般民間工事に若干の回復がみられますが地熱向けが低調に推移し減収となりました。ペット関係は、消費税率引き上げ後の反動減からの回復により取扱量が増加し、増収となりました。しかしながら、円安による原材料高や輸送コスト高の影響により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は40億83百万円（前年同期比 0.8%増）、セグメント利益は5億14百万円（同 6.4%減）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、消費税率引き上げによる生産前倒しの反動から回復するとともに、殺虫殺菌剤がほぼ横這いで推移し除草剤が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8億59百万円（同 0.7%増）、セグメント利益は75百万円（同 118.9%増）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアは主に一般工業用途にて採算性を得るために価格改定をしたことや吸着用輸出向けで大幅に増加し増収となり、環境保全処理剤の使用量引き締めによる減収を補い全体として増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5億19百万円（同 2.5%増）、セグメント利益は72百万円（同 90.3%増）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しており、主力のベントナイト事業部門において売上が増加しておりますが、円安が原材料価格や燃料費等原価を圧迫し始める等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成27年5月8日）の業績予想の変更はありません。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,539,604	4,906,211
受取手形及び売掛金	3,691,254	3,316,934
有価証券	238,376	237,967
商品及び製品	321,265	416,247
仕掛品	213,460	236,684
原材料及び貯蔵品	1,148,207	1,305,399
その他	168,083	115,017
貸倒引当金	△1,701	△1,023
流動資産合計	11,318,551	10,533,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,374,769	1,350,478
機械装置及び運搬具(純額)	1,005,968	919,542
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	55,970	44,967
その他(純額)	84,701	357,111
有形固定資産合計	4,301,664	4,452,354
無形固定資産	130,126	137,238
投資その他の資産	1,787,450	1,656,337
固定資産合計	6,219,242	6,245,930
資産合計	17,537,794	16,779,369
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011,449	632,765
未払法人税等	401,798	165,331
賞与引当金	137,004	133,463
その他	695,910	779,096
流動負債合計	2,246,163	1,710,658
固定負債		
退職給付に係る負債	11,736	11,299
閉山費用引当金	490,098	492,666
環境対策引当金	490	—
資産除去債務	23,494	23,494
その他	551,267	491,937
固定負債合計	1,077,087	1,019,398
負債合計	3,323,250	2,730,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,794,107	2,794,107
利益剰余金	9,265,729	9,221,762
自己株式	△253,223	△253,286
株主資本合計	13,424,412	13,380,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,990	358,286
繰延ヘッジ損益	34,345	△1,280
為替換算調整勘定	77,235	85,647
その他の包括利益累計額合計	576,571	442,652
非支配株主持分	213,559	226,277
純資産合計	14,214,543	14,049,312
負債純資産合計	17,537,794	16,779,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,408,667	5,462,228
売上原価	3,747,915	3,730,603
売上総利益	1,660,751	1,731,625
販売費及び一般管理費	1,234,000	1,255,764
営業利益	426,750	475,860
営業外収益		
受取利息	352	595
受取配当金	51,920	62,087
為替差益	37,279	—
貸倒引当金戻入額	—	678
その他	10,059	17,059
営業外収益合計	99,611	80,421
営業外費用		
支払利息	2,068	1,637
コミットメントフィー	1,467	1,473
為替差損	—	1,526
その他	1,108	663
営業外費用合計	4,645	5,300
経常利益	521,716	550,981
特別利益		
固定資産売却益	249	2,771
特別利益合計	249	2,771
特別損失		
固定資産除却損	17,071	4,315
特別損失合計	17,071	4,315
税金等調整前四半期純利益	504,894	549,437
法人税、住民税及び事業税	163,274	162,706
法人税等調整額	20,257	19,745
法人税等合計	183,532	182,452
四半期純利益	321,362	366,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,245	9,296
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,116	357,688

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	321,362	366,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,403	△106,704
繰延ヘッジ損益	17,234	△35,626
為替換算調整勘定	△21,886	11,832
その他の包括利益合計	60,751	△130,498
四半期包括利益	382,113	236,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381,121	223,769
非支配株主に係る四半期包括利益	992	12,717

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

第2四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
減価償却費	266,146千円	239,462千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,048,618	853,424	506,623	5,408,667	—	5,408,667
セグメント間の内部売上 高又は振替高	25,551	—	41,239	66,790	(66,790)	—
計	4,074,169	853,424	547,862	5,475,457	(66,790)	5,408,667
セグメント利益	550,118	34,333	37,862	622,313	(195,562)	426,750

(注) 1. セグメント利益の調整額△195,562千円には、セグメント間取引消去363千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△226,742千円及び棚卸資産の調整額30,815千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,083,000	859,689	519,538	5,462,228	—	5,462,228
セグメント間の内部売上 高又は振替高	29,654	—	31,508	61,163	(61,163)	—
計	4,112,655	859,689	551,047	5,523,392	(61,163)	5,462,228
セグメント利益	514,720	75,160	72,040	661,921	(186,060)	475,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△186,060千円には、セグメント間取引消去420千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,271千円及び棚卸資産の調整額35,790千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。